

Ⅲ章 各高等学校の改革の方向性

1 本県の中学校卒業見込者数の推移

(1) 今後の中学校卒業見込者数と学級数の推移

本県の今後の中学校卒業生及び卒業見込者数については、県立高等学校改革基本計画策定前の2017年（平成29年）3月の中学校卒業生数18,482人に比べて、2028年3月の卒業見込者数13,144人と約5,300人減少する見込みです（p.1 図1参照）。

このため、2017年度（平成29年度）入試における公立比（地区内の全高等学校に進学した生徒数のうち、県立全日制課程高等学校に進学した生徒数の実績値の割合）を勘案すると、2028年度までに、県立高等学校は、県全体で104学級程度の削減が必要となります。すでに2018年度に県全体で学級数を15学級削減しており、さらに89学級程度の削減が必要となります。

なお、前期実施計画では、2018年（平成30年）3月から2028年3月までの中学校卒業見込者数の推移（17,619人→13,144人、約4,500人の減少）をもとに、改革の方向性を示すこととします。

(2) 前期実施計画期間中の中学校卒業見込者数と学級数の推移

2018年3月から前期実施計画の最終年度である2023年3月までの中学校卒業見込者数は、県全体で約2,100人の減少が見込まれます。公立比や地域、学校の状況等を勘案すると、県立高等学校の学級数は、県全体で42学級程度の削減が必要となります。

Ⅱ章2で示した本計画期間中の高等学校の再編整備はもちろんのこと、統合対象外の高等学校においても、中・長期的に学級数の見通しを立てて高等学校の在り方を検討していく必要があります。

2 全日制課程の改革の方向性

各地区の中学校卒業見込者数及び減少見込数は以下のとおりです。広域にわたって人口が分散している本県においては、各地区の実状に応じて今後の高等学校の再編整備や学校規模を検討していく必要があります（表1）。

なお、以下に算定した学級数の減少は、あくまで現段階で想定される見込みであり、様々な要因によって変動する可能性があります。

表 1 2018 年 3 月以降の中学校卒業（見込）者数と学級の減少見込数（各地区・全県）

地 区 (学校数 *1)	2018 (平成 30) 年 3 月卒業生数 *2	2023 年 3 月 卒業見込者数	前期計画 中の減少数	学級の減少 数の目安 *3	2028 年 3 月 卒業見込者数	後期計画 中の減少数	10 年間の学級の 減少数の目安
県北(16 校)	4, 498	3, 778	720	12	3, 168	610	24
県中(18 校)	5, 020	4, 545	475	9	3, 935	610	18
県南(7 校)	1, 426	1, 251	175	3	1, 079	172	8
会津(18 校)	2, 537	2, 185	352	10	1, 852	333	15
いわき(15 校)	3, 202	2, 929	273	6	2, 492	437	16
相双(7 校)	936	823	113	2	618	205	8
全県 (81 校)	17, 619	15, 511	2, 108	42	13, 144	2, 367	89

出典は、p.1 ページの図 1 と同じ。

*1 各地区内の学校数は、2018 年度に生徒募集を行った分校を含む県立の全日制高等学校の数。

*2 2018 (平成 30) 年 3 月の卒業生数は、2017 年度学校基本調査の中学 3 年生の在籍者数。

*3 前期計画期間中の学級の減少数の目安は、各地区の 2017 年度 (平成 29 年度) 入試の公立比を考慮した県立高等学校への進学見込者数から算定。

そこで、以下の①～④の基本的な考えのもと、各校の前期実施計画期間中の改革の方向性を地区ごとに示すこととしました。

- ① 全日制高等学校については、望ましい学校規模（1 学年 4～6 学級）を考慮しながら、学校の再編、各校の学級数の期間内の増減を計画的に進める。
- ② 前期実施計画で再編整備や 1 学級本校化を行わない全日制高等学校についても、各地区の中学校卒業見込者数の推移や生徒の志願動向等を注視し、後期実施計画において、再編整備を検討する。
- ③ 地区内で生徒の多様な進路希望に対応できるように、全日制高等学校を「進学指導拠点校」「進学指導重点校」「キャリア指導推進校」「地域協働推進校」「職業教育推進校」のいずれかに位置づけるとともに、定時制・通信制高等学校も含めて、各校の特色や計画期間中の方向性を明示する。
- ④ 生徒の希望する学びの内容に応じて、「普通科・普通系専門学科」「総合学科」「職業系専門学科」を地区ごとにバランスよく配置する。

(1) 県北地区

中学校卒業（見込）者：2018年3月 4,498人 → 2023年3月 3,778人
 前期実施計画期間内学級数の増減の目安 12学級減

2018年(現高1) 2023年(現小5) 2028年(現5歳)
 卒業（見込）者数 4,498人 → 3,778人 → (3,168)人
 公立募集学級 79学級 → 67学級 → (55)学級

各校の改革の方向性（県北地区）

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

太字の学校名は、前期実施計画で再編整備や1学級本校化を行わない1学年3学級以下の学校。

学校名	学科	前期計画			各校の方向性
		現在 2018 年度	2023 年度	期間内 増減	
福島	普通	8	7	△ 1	進学指導拠点校 ○進学指導のリーダー校として、単位制の特徴を生かした、より高度な学びの追究や難関大学等に対応した進路指導による、未来を牽引する人材の育成。 ○梅草のおしえ「清らかであれ、勉強せよ、世のためたれ」のもと、SSH事業やこれまでの成果を継承した、県内の学習指導、進学指導をリードする取組の推進。 ○全校生が課題研究に取り組むなど、探究的な学びの実践による、主体的に考え、協働的に行動できる人材の育成。
橘	普通	7	6	△ 1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○生徒の自主的な進路選択を促す「自己変革プラン」を柱とした進路指導と洗練された文化の創造を目標とした活動による、高い志と自ら学び考える力の育成。また、授業第一主義と文武両道を目標に掲げ、質の高い授業と徹底した小論文指導を核とした、学力向上と進路実現を図る取組の推進。
福島商業	商業	6	6	0	職業教育推進校（商業科） ○商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○商業の学び、ビジネススキルの習得を基本に、資格取得や文武両道等の推進による、豊かな人間性を有し、産業社会の変化に対応できる将来の職業人の育成。 ○地域社会及び大学等と連携した教育活動の展開や地域ビジネス創出活動等の実践的な取組による、自ら課題を発見して創造的に解決する力の育成。
福島明成	農業	6	5	△ 1	職業教育推進校（農業科） ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○大学や関係機関等との連携による高度な知見に触れる教育を通じた、持続可能な農業の展開や地域社会の活性化に寄与できる人材の育成。 ○農業のグローバル化や法人化、6次産業化に関する知識・技術の習得を図るとともに、経営感覚を養い、農業の技術革新に対応できる人材の育成。
福島工業	工業	7	6	△ 1	職業教育推進校（工業科） ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動の推進と、職業人としての倫理観を持って地域産業界の発展に貢献できる人材の育成。 ○産業界の動向を注視し、伝統技術を踏まえた上での、先進技術に関する学びの導入及び地域産業界等との連携を図り、時代の要請に応じた質の高い工業教育の実践による、「信頼され続ける工業高校」を目指す取組の展開。 ○事故の未然防止を図る5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動の推進。

福島西	普通	5	4	△ 1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○アクティブ・ラーニングや探究的な学習活動の展開及び大学や地域社会、異校種間の連携などを通じた、地域から信頼される開かれた学校づくりの推進。 ○デザイン科学科における、国内有数の美術系学科としての特色ある教育活動による、難関芸術系大学への進学を含めた、国内外で活躍できる人材の育成。
	デザイン科	1	1	0	
福島北	総合	4	4	0	キャリア指導推進校 ○総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群(系列)やキャリア教育の充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○必修科目による基礎学力の定着とともに、興味・関心、適性、進路希望に応じた幅広い選択科目の展開による、生徒の多様な進路希望の実現。 ○課題研究等の主体的な探究活動を通じた、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力等の育成による、地域を牽引する人間力の育成。
福島東	普通	7	6	△ 1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○「創造・協調・躍進」を校訓とし、生徒の個性・能力に応じた教育の徹底を基礎とした「文武両道」の実践による、大学進学等に対応する高い学力の育成及び変化の激しい時代をたくましく生きる力の育成。 ○探究型・対話型の魅力ある授業による生徒の主体的で深い学びの追究。
福島南	文理	2	2	0	キャリア指導推進校 ○各科の特色を生かし、国内外と連携した教育活動の充実による生徒の学びの質の向上と、生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育の推進。また、商業に関する専門的な知識・技能の習得と資格取得を目指すなど、普通教育と商業教育の推進による地域を支える人材の育成。 ○文理科における多様な特色ある学校設定科目やサイエンスセミナー等の実践的な授業の展開による、大学進学を目指す探究的な学びの推進。国際文化科におけるALTを活用した授業やイギリスの姉妹校交流等などの、英語力を高める活動の展開。情報会計科における高難度の資格検定の取得を通じた学びによる、進学から公務員、民間企業への就職までの幅広い進路希望の実現。
	国際文化	1	1	0	
	商業	2	1	△ 1	
川俣	普通	1	1	0	地域協働推進校、1学級本校化(2020年度)、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○地域やその課題について学び、解決策を提案する「地域探究」の取組による、コミュニケーション能力の向上と適切な職業観・勤労観の育成。 ○ふくしまイノベーション人材育成推進校として、地域と連携した教育課程の研究やアクティブ・ラーニングの実践を通じた授業改善による、充実した教育活動の展開。
	工業	1	0	△ 1	
梁川・保原 統合校	普通		6	6	キャリア指導推進校 2023年度統合予定 統合校の方向性は、25ページに記載
梁川	普通	2	0	△ 2	2023年度、統合により募集停止
保原	普通	4	0	△ 4	2023年度、統合により募集停止
	商業	1	0	△ 1	
安達	普通	5	4	△ 1	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○県内唯一のユネスコスクールとして、環境や食の問題などをテーマとした課題解決型学習や国際理解教育による、ESD(持続可能な開発のための教育)活動の推進及び生徒の主体的・対話的で深い学びの展開。 ○生徒一人一人への徹底した個別指導による、生徒の進路希望の実現。

二本松工業 ・安達東 統合校	工業		3	3	職業教育推進校（工業科、家庭科） 2023年度統合予定 統合校の方向性は、25ページに記載
	家庭		1	1	
二本松工業	工業	3	0	△ 3	2023年度、統合により募集停止
安達東	総合	2	0	△ 2	2023年度、統合により募集停止
本宮	普通	2	2	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実。また、商業に関する専門的な知識・技能の習得と資格取得を目指すなど、普通教育と商業教育の推進による地域を支える人材の育成。 ○生徒が自らの適性を発見し能力を開発する取組を通じた、人生を切り拓き社会の中でよりよく生きていく力の育成。 ○社会における自らの役割を見いだすことを目指した、地域や社会と関わる探究活動による、よりよい社会を創るために主体的に行動できる人材の育成。
	商業	2	1	△ 1	
学級数計		79	67	△ 12	

県北地区の再編整備の方向性

① 梁川・保原統合校

開校年度：2023年度予定

使用校舎：保原高等学校の校舎

学科構成：普通科6学級

統合校における教育活動の方向性：

- 生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等により、生徒の学びを充実させ、地域を支える核となる人材を育成するキャリア指導推進校に位置づけます。
- 梁川と保原の取組を継承し、生徒一人一人へのきめ細かな学習指導と、ICT機器を積極的に活用した探究的な学びを推進するとともに、進学から就職までの幅広い進路希望に応じた進路指導により、生徒の進路実現を図ります。
- 地元企業や伊達市との連携により、地域に根ざした人材を育成します。

検討する統合校の特色化：

商業科における取組を発展させた、普通科における地域活性化に向けた課題探究学習。進路希望に応じたコース制の導入。ICT機器の活用によるアクティブ・ラーニング。

② 二本松工業・安達東統合校

開校年度：2023年度予定

使用校舎：二本松工業高等学校の校舎

学科構成：工業科3学級・家庭科1学級

統合校における教育活動の方向性：

- 地域との連携等による工業教育の充実に加え、工業科と家庭科の連携による専門的な学びとキャリア教育の充実により、地域産業を支える人材を育成する職業教育推進校に位置づけます。
- 安達東の家庭や福祉の学びを継承した家庭科を創設し、地域や関係団体等との連携による体験的な学びを推進します。

- 学科間連携により、ユニバーサルデザインを取り入れた「ものづくり」や、新たな商品開発などの活動を展開し、教育活動の充実を図ります。

検討する統合校の特色化：

工業科と家庭科のクロストレーニング※。地域の伝統産業や農産物を生かした家庭科の学び。地域企業や専門学校などとの連携による体験的な学び。

※ クロストレーニング
p. 14 参照。

(2) 県中地区

中学校卒業（見込）者：2018年3月 5,020人 → 2023年3月 4,545人
 前期実施計画期間内学級数の増減の目安 9学級減

2018年(現高1) 2023年(現小5) 2028年(現5歳)
 卒業（見込）者数 5,020人 → 4,545人 → (3,935)人
 公立募集学級 90学級 → 81学級 → (72)学級

各校の改革の方向性（県中地区）

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

太字の学校名は、前期実施計画で再編整備や1学級本校化を行わない1学年3学級以下の学校。

学校名	学科	現在	前期計画		各校の方向性
		2018年度	2023年度	期間内増減	
安積	普通	8	7	△ 1	進学指導拠点校 ○進学指導のリーダー校として、単位制の特徴を生かした、より高度な学びの追究や難関大学等に対応した進路指導による、未来を牽引する人材の育成。 ○「開拓者精神」のもと、知・徳・体を錬磨し、高い志をもって世界で活躍できるリーダーの育成。 ○授業第一主義のもと、県内の学習指導及び進学指導をリードする、探究的な活動を重視した質の高い授業の実践や、確かな学力と高い知性を育む取組の推進。
安積御館	普通	1	0	△ 1	2020年度募集停止
安積黎明	普通	7	7	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○探究的な学びと発信力の向上を重視した教育活動による、学力向上と進路希望の実現。また、芸術・文化活動においても県をリードする取組の実践。 ○地域や社会に開かれたカリキュラムの充実を図り、多様な領域で活躍する感性豊かな人材の育成を目指した、探究的に学ぶキャリア教育の推進。
郡山東	普通	7	6	△ 1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○個に応じた、きめ細かな指導による進路希望の実現。 ○探究活動を通じた、学びたい分野から大学進学につなげる進路指導の実践。 ○授業のICT化の推進と、英語4技能の向上を図る取組の推進。 ○グローバルな視野で課題を捉え、未来を見据えて社会貢献できる人材の育成。
郡山商業	商業	7	6	△ 1	職業教育推進校（商業科） ○商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○ビジネスにおけるマネジメント能力の向上に必要な、創造力・発想力の豊かな人づくりの推進。 ○実学を重視した体験的・実践的な学習を通じた専門性の深化と、個に応じた丁寧な指導による、資格取得の向上を目指した取組の推進。
郡山北工業	工業	7	7	0	職業教育推進校（工業科） ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動の推進と、職業人としての倫理観を持って地域産業界の発展に貢献できる人材の育成。 ○地域産業や時代のニーズに柔軟に対応した工業人の育成及び地域産業の活性化に貢献できる、新しい産業創出に関わる人材の育成。 ○ロボット製作などの、ものづくり教育のさらなる充実と、全国トップレベルの資格取得率をより向上させる教育活動の推進。

郡山	普通	6	6	△ 1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○文武両道の実践・追求による、大学進学を中心とした生徒の進路希望の実現。 ○探究的な教育活動の推進や丁寧な指導による、難関大学を志望する生徒に対する進学指導体制の充実。 ○異文化・国際理解に関する学習を通じた、総合的な英語力育成の推進。	
	英語	1				
あさか開成	国際科学	5	4	△ 1	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○探究活動や海外研修等の国際交流に係る取組と、英語運用能力の育成による、国際的な視野に立ち、物事を考え主体的に行動できる人材の育成。 ○物事を多面的に考察し、協働作業をしながら問題解決に向かう、クリティカル・シンキングを取り入れた授業づくりの推進。	
湖南	普通	1	1	0	地域協働推進校、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○きめ細かな学習指導による、社会人として必要な基礎学力の定着及び地域の学校として地元の小中学校や関係機関との連携の推進。 ○湖岸清掃や除雪ボランティア、湖南の文化や自然を学ぶ「ぐるっと湖南」等の、地域性を生かした教育活動の展開。	
須賀川・長沼 統合校	普通		6	6	キャリア指導推進校 2022年度統合予定 統合校の方向性は、29ページに記載	
	須賀川	普通	4	0	△ 4	2022年度、統合により募集停止
		商業	1	0	△ 1	
長沼	普通	2	0	△ 2	2022年度、統合により募集停止	
須賀川桐陽	普通	5	6	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○大学等との連携のもと、探究的な学びを発展させた取組による、生徒の学習に対する主体的な態度や発信力、行動力を鍛える教育活動の推進。 ○基礎学力向上に向けた取組と進路ガイダンスの充実及び進学指導における小論文や面接などの丁寧な個別指導の実施。	
	数理科学	1				
清陵情報	工業	4	3	△ 1	職業教育推進校（工業科・商業科） ○地域企業等との連携による工業・商業教育の充実に加え、専門的な知識・技能の習得と進路希望に応じたキャリア教育による、地域産業を支える人材の育成。 ○工業系・商業系の学科をもつ「情報」の専門高校として、専門性、学力、人間性を向上させることによる、進学や就職にも対応できる教育活動の推進。 ○情報科目を中心とした教育課程とICT機器を活用した教育の推進による、情報活用能力の向上を目指した取組の展開。	
	商業	3	3	0		
岩瀬農業	農業	6	6	0	職業教育推進校（農業科） ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○作物や家畜という生き物を通じた豊かな人間性の育成とともに、地域と連携した農業の6次産業化に対応した学習、農業の学びを活用した福祉に関する学習、さらに国際社会やグローバル化に対応した先端技術の学習による、時代の進展に対応した魅力ある、農業高校へ向けた取組の推進。	
石川	普通	2	2	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○確かな学力の習得や適切な職業観・勤労観の形成など、「社会を生き抜く力」となる、生徒の社会的・職業的自立に必要な能力や態度の育成。 ○石川町や商工会と連携したデュアルシステムや地域課題探究活動による地域コミュニティ再生への取組など、地域と連携した教育活動の展開。	

田村	普通	5	4	△ 1	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○県内唯一の体育科の設置校として、競技力の向上とスポーツを通して人間力を身に付けることによる、国内はもとより世界で活躍できる人材の育成。 ○普通科において特進クラスを設けるなど、生徒の多様な進路目標実現を目指した進路指導の充実。
	体育	1	1	0	
船引	普通	3	3	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○市・企業・学校が一体となって人材育成を図るデュアル実習、地域課題の探究及びドローン活用事例の研究を通じた、地域に貢献する意識の醸成。 ○個に応じた指導や資格取得を重視した指導による進路希望の実現。また、多様な価値観の受容と協働を通じた、よりよい社会を目指す姿勢の育成。
小野	総合	3	3	0	キャリア指導推進校 ○総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群(系列)及びキャリア教育の充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○「地域社会の支援の中で、地域と共に生きる」という理念のもと、各系列の特色を生かした課題研究の取組や資格取得に向けた取組の推進。 ○他校種との共同学習、沖縄県の高校との交流事業や地域資源を生かした6次化商品開発など、社会に積極的に関わる学習活動の展開。
学級数計		90	81	△ 9	

県中地区の再編整備の方向性

① 須賀川・長沼統合校

開校年度：2022年度予定

使用校舎：須賀川高等学校の校舎

学科構成：普通科6学級

統合校における教育活動の方向性：

- 生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等により、生徒の学びを充実させ、地域を支える核となる人材を育成するキャリア指導推進校に位置づけます。
- 須賀川の取組を継承し、大学進学や就職など多様な進路希望に対応できるコース制を導入します。
- 長沼の取組を継承し、丁寧な学習指導により基礎学力の着実な定着を図ります。
- 地域企業や専門学校との連携等により、生徒の進路意識を醸成します。

検討する統合校の特色化：

須賀川市の地域資源とCG映像などの新しい文化を生かした体験的な学び。進路希望に応じたコース制の導入。専門学校や地域企業との連携によるキャリア教育。

② 安積高等学校御館校の募集停止

募集停止年度：2020年度予定

※ 入学者の出身中学校の状況や地元及び周辺の中学校の卒業見込者数の減少を踏まえ、募集停止とします。

(3) 県南地区

中学校卒業（見込）者：2018年3月 1,426人→ 2023年3月 1,251人
 前期実施計画期間内学級数の増減の目安 3学級減

2018年(現高1) 2023年(現小5) 2028年(現5歳)
 卒業（見込）者数 1,426人 →1,251人 →(1,079)人
 公立募集学級 29学級 → 26学級 → (21)学級

各校の改革の方向性（県南地区）

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	現在	前期計画		各校の方向性
		2018年度	2023年度	期間内増減	
光南	総合	5	5	0	キャリア指導推進校 ○総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群(系列)及びキャリア教育の充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○生徒の進路希望と興味関心に応じた、多様な選択科目からの授業選択が可能となる、特色ある各系列の学びを深めるカリキュラムの編成。 ○進路希望実現のためのきめ細かな進路指導や資格取得に向けた指導の推進。 ○矢吹町との連携協定による、地域に必要とされる学校づくりの推進。
白河	普通	5	5	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○きめ細かな学習指導や進路指導による生徒の進学希望の実現と、文武両道の奨励を通じた、「地域とともにある愛される学校」を目指す取組の推進。 ○難関大学等への進学に対応した学習指導と、課題研究などの探究的な学習の展開による、生徒が主体的に学ぶ姿勢を重視した教育活動の推進。
	理数	1	1	0	
白河旭	普通	5	4	△1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○文武両道を目標に掲げ、進路意識を涵養し進路希望実現につなげる「進路ストーリー」の取組や、丁寧な学習指導による学力向上に向けた取組の展開。 ○探究的な学びや課題解決型の教育活動を通じた、主体的に学び行動する態度と情報発信力の育成による、地域社会の期待に応える学校づくりの推進。
白河実業・ 塙工業 統合校	工業		5	5	職業教育推進校（工業科・商業科） 2023年度統合予定 統合校の方向性は、31ページに記載
	商業		1	1	
白河実業	農業	1	0	△1	2023年度、統合により募集停止
	工業	4	0	△4	
	商業	1	0	△1	
塙工業	工業	2	0	△2	2023年度、統合により募集停止
修明	文理	1	1	0	職業教育推進校（農業科・商業科） 2023年度再編予定 再編の方向性は、31ページに記載
	農業	2	3	1	
	商業	1	1	0	
修明鮫川	普通	1	0	△1	2020年度募集停止
学級数計		29	26	△3	

県南地区の再編整備の方向性

① 白河実業・埴工業・修明の再編

ア 白河実業・埴工業統合校

開校年度：2023 年度予定

使用校舎：白河実業高等学校の校舎

学科構成：工業科 5 学級、商業科 1 学級

統合校における教育活動の方向性：

- 工業・商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動により生徒の知識・技能を高め、大学進学の実現を図るなど、地域産業を支える核となる人材を育成する職業教育推進校に位置づけます。
- 白河実業と埴工業における工業科の教育活動を継承し、丁寧なキャリア教育、資格取得や各種大会の参加を通じた職業人の育成により、地域に信頼される学校を目指します。
- 工業科と商業科の連携による学科横断的な学びを生かした探究的な学習プログラムや、地域と協働した取組の実践で地域活性化に貢献します。

検討する統合校の特色化：

大学と連携した専門性の高い課題研究。工業分野を総合的に学べる教育課程。県南地区の企業との連携。地域との協働による地域活性化の取組。

イ 白河実業・修明の学科の再編

再編年度：2023 年度予定

使用校舎：修明高等学校の校舎

学科再編の方向性：

- 白河実業の農業科については、修明に集約し、修明を県南地区の農業科の拠点校とします。
- 修明は、東白川郡の唯一の高等学校として、埴工業の取組を継承しつつ、地域と連携した教育活動により、地域を支える核となる人材を育成します。
- 生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じて、普通教育と職業教育の推進により、地域創生を担う人材の育成を図ります。また、職業教育における、農業教育の拠点及び商業教育の実施校として、高い専門性を身に付けるための教育活動を通じた生徒の知識・技術の向上により、地域産業を支える核となる人材の育成を図ります。
- 文理科において、個に応じたきめ細かな指導の推進による、四年制大学への進学など、生徒一人一人の進路希望を実現させます。
- 農業科・商業科において、それぞれの専門性を深化させ、地域と連携した地域課題探究活動により、職業人として必要な資質・能力の育成を図ります。

② 修明高等学校鮫川校の募集停止

募集停止年度：2020 年度予定

※ 入学者の出身中学校の状況や地元及び周辺の中学校の卒業見込者数の減少を踏まえ、募集停止とします。

(4) 会津地区

中学校卒業（見込）者：2018年3月 2,537人 → 2023年3月 2,185人
 前期実施計画期間内学級数の増減の目安 10学級減

2018年(現高1) 2023年(現小5) 2028年(現5歳)
 卒業（見込）者数 2,537人 → 2,185人 → (1,852)人
 公立募集学級 59学級 → 49学級 → (44)学級

各校の改革の方向性（会津地区）

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	現在	前期計画		各校の方向性
		2018年度	2023年度	期間内増減	
会津	普通	6	6	0	進学指導拠点校 ○進学指導のリーダー校として、単位制の特徴を生かした、より高度な学びの追究や難関大学等に対応した進路指導による、未来を牽引する人材の育成。 ○地域に根ざした諸課題に対して、大学等と連携し、多面的多角的な視点からの様々な探究活動の実践による、論理的思考力やコミュニケーション能力、リーダーシップ等を身に付けた、会津から世界へ発信できるグローバルリーダーの育成。
葵	普通	6	5	△ 1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○「私の選択には意志がある」をスローガンに、課題探究型学習の「葵ゼミ」やICT機器の効果的運用を含めたアクティブ・ラーニング型授業の一層の推進による、生徒の主体性の育成。また、英語4技能の育成を図る指導法の研究・改善による、生徒の英語力向上及び大学等への進路実現を目指す取組の展開。
会津学鳳	総合	6	5	△ 1	進学指導重点校 ○中高一貫校の利点である6年間の系統的で継続的な指導を生かした、将来、各分野のリーダーとして活躍し、社会の発展に貢献できる優れた人材の育成。 ○総合学科の特長である専門科目を含めた多彩な科目の選択制を生かし、難関大学進学を含めた生徒の多様な進路希望実現に向けた、きめ細かな指導の推進。 ○グローバルな視野や高度な思考力を養うための、国際交流やSSH事業、会津大学等との連携、課題研究等の探究的活動の積極的な展開。
若松商業	商業	4	4	0	職業教育推進校（商業科） ○商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○商業教育は「人づくり」であることを重視した、学力向上と文武両道の実践による、人間性・社会性の育成を目指す全人的な教育の推進。 ○生徒を株主とした模擬株式会社「若商デパート」を、地域と連携しながら生徒主体で運営を行うなどの、実践的な商業教育の展開。
会津工業	工業	6	5	△ 1	職業教育推進校（工業科） ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動の推進と、職業人としての倫理観を持って地域産業界の発展に貢献できる人材の育成。 ○地域企業と連携した「共同課題研究」などの事業をはじめとする、優れた技術・技能を学ぶ活動の推進による、科学技術の進展や産業構造の変化等に対応できる能力の向上。また、地域から信頼される工業高校として、地域への貢献意欲が高く、高度な技能を持つ優れた工業人の育成。

喜多方・ 喜多方東 統合校	普通		5	5	進学指導重点校 2021年度統合予定 統合校の方向性は、34ページに記載	
	喜多方	普通	4	0	△ 4	2021年度、統合により募集停止
	喜多方東	普通	2	0	△ 2	2021年度、統合により募集停止
喜多方桐桜	工業		3	3	0	職業教育推進校（工業科・商業科） ○地域企業等との連携による工業・商業教育の充実に加え、専門的な知識・技能の習得と進路希望に応じたキャリア教育による、地域産業を支える人材の育成。 ○工業と商業の学科間連携による学習プログラムを通じた学びを、生徒の進路選択に生かす取組の推進と、資格取得マップを活用した、自ら学ぶ意欲の喚起。 ○地域に信頼される学校として、地域の小中学校及び企業等と連携した授業や商品開発など、地域密着型の取組の推進による、地域貢献意識を持つ職業人の育成。
	商業		2	1	△ 1	
猪苗代	普通		1	1	0	地域協働推進校、1学級本校化（2020年度）、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○観光業など地域の教育資源を活用した商業の学びを継続し、地域で活躍できる人材を育成する教育カリキュラムの実施。 ○個に応じた進学指導、専門学校と提携した公務員試験対策、地域行事への積極的な参加など、地域と連携した実践的なキャリア教育の推進。
	商業		1	0	△ 1	
西会津	普通		1	1	0	地域協働推進校、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人間の育成。 ○西会津町の教育資源を活用した、地域活性化の一翼を担う学校づくりの実践と、西高P C～Public Commitment & Plan Check～に掲げる7つの力「自己肯定力」「思考力」「課題解決力」「継続力」「傾聴力」「発信力」「協働力」を育む授業や特別活動、学校行事等の展開。
大沼・坂下 統合校	普通			4	4	キャリア指導推進校 2022年度統合予定 統合校の方向性は、34ページに記載
	大沼	普通	3	0	△ 3	2022年度、統合により募集停止
	坂下	普通	2	0	△ 2	2022年度、統合により募集停止
川口	普通		1	1	0	地域協働推進校、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○地域から信頼される1学級規模の学校として、地域の教育資源を活用した教育環境の充実による、自らの手で地域づくりを推進する人材の育成。 ○地区外や県外出身の生徒に対し、学校と寮とが協調した指導を行うなど、地域全体での温かい指導による、人間性を高める取組の推進。
耶麻農業・ 会津農林 統合校	農業			4	4	職業教育推進校（農業科） 2023年度統合予定 統合校の方向性は、35ページに記載
	耶麻農業	農業	1	0	△ 1	2023年度、統合により募集停止
		家庭	1	0	△ 1	
会津農林	農業		3	0	△ 3	2023年度、統合により募集停止

田島・南会津統合校	総合		3	3	キャリア指導推進校 2023年度統合予定 統合校の方向性は、35ページに記載
田島	普通	2	0	△ 2	2023年度、統合により募集停止
南会津	普通	2	0	△ 2	2023年度、統合により募集停止
只見	普通	2	1	△ 1	地域協働推進校、1学級本校化（2020年度）、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○豊かな自然と文化に恵まれた地域の学びを通して、発見した課題を主体的に解決する教育活動の展開による、未来を創造できる、生きる力の育成。 ○県内外からの生徒受け入れによる交流活動を通じた、社会性、人間性の育成及び地域創生の一翼を担う人材の育成を重視する学校づくりの推進。
学級数計		59	49	△10	

会津地区の再編整備の方向性

① 喜多方・喜多方東統合校

開校年度：2021年度予定

使用校舎：喜多方高等学校の校舎

学科構成：普通科5学級

統合校における教育活動の方向性：

- 授業の質の向上と進学指導の充実を図ることで、大学等への進学指導体制を強化し、各分野のリーダーとして活躍し地域の発展に貢献する人材を育成する進学指導重点校に位置づけます。
- 喜多方と喜多方東における教育活動を継承し、生徒一人一人の学習ニーズに応える丁寧な学習指導と進路指導により、多様な進路希望を実現します。
- 地域から信頼される学校として、地元の関係機関との連携のもと、探究的な学びなどを通して、生徒の主体性、協働性、創造性を育みます。

検討する統合校の特色化：

大学進学に向けた丁寧な進路指導。喜多方市の伝統文化や地域産業に触れる探究的な学び。地域の医療福祉機関や自治体との連携。

② 大沼・坂下統合校

開校年度：2022年度予定

使用校舎：大沼高等学校の校舎

学科構成：普通科4学級

統合校における教育活動の方向性：

- 生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等により、生徒の学びを充実させ、地域を支える核となる人材を育成するキャリア指導推進校に位置づけます。
- 大沼と坂下の取組を継承した、少人数・習熟度別授業やICT機器を活用したアクティブ・ラーニング型の授業など、個に応じた丁寧な学習指導を実践します。
- 地域の伝統行事やイベント等への積極的な関わりにより、生徒の社会性を育みながら、学校を核とした地域づくりを推進します。

検討する統合校の特色化：

少人数教育や習熟度別授業による個に応じた学習指導や進路指導。地域の伝統行事等との関わり。観光や福祉分野などの地域課題探究型学習。

③ 耶麻農業・会津農林統合校

開校年度：2023年度予定

使用校舎：会津農林高等学校の校舎

学科構成：農業科4学級

統合校における教育活動の方向性：

- 農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動により生徒の知識・技能を高め、大学進学の実現を図るなど、地域産業を支える核となる人材を育成する職業教育推進校に位置づけます。
- 耶麻農業と会津農林の取組を継承した、地域貢献を目指す学校づくりを推進します。
- 食料生産に必要な知識・技術を習得するとともに、米や伝統野菜栽培でのグローバルGAP認証取得、林産物の加工や生産及び発酵等の食品加工技術を活かした商品開発・農福連携等の教育活動を柱とした、6次産業化に対応できる人材を育成します。

検討する統合校の特色化：

伝統野菜やそば、発酵・醸造の技術など、会津の豊かな農業資源の継承発展に寄与する学び。大学や関係機関との連携。地域の伝統文化を継承する活動。

④ 田島・南会津統合校

開校年度：2023年度予定

使用校舎：田島高等学校の校舎

学科構成：総合学科3学級

統合校における教育活動の方向性：

- 総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）の設置と探究的な学びの推進及びキャリア教育の充実により、地域を支える核となる人材を育成するキャリア指導推進校に位置づけます。
- インクルーシブ教育システム※の理念の下、南会津町に新設される特別支援学校との連携を図ります。
- 地域資源を生かした体験的な学習と幅広い職業教育を通じて、グローバルな視点を持った地域社会のリーダーや地域産業の核となる人材を育成します。
- 連携型中高一貫教育の充実に加え、南会津地区の小・中学校や特別支援学校との連携により、南会津地区全体の教育力の向上を図ります。

検討する統合校の特色化：

持続可能な地域づくりに向けた探究的な活動（食と農業、地域創生、地域人材を活用した進学指導など）。地域企業における就業体験。地域の良さを国内外に発信する取組。南会津地区におけるインクルーシブ教育システムの実現。

※ インクルーシブ教育システム

2006年（平成18年）に国連で採択された「障害者の権利に関する条約」において提唱されたものであり、共生社会に向けて一人一人に応じた指導や支援（特別支援教育）を行うことに加え、障がいのある者と障がいのない者が可能な限り共に学ぶ仕組みのこと。

(5) いわき地区

中学校卒業（見込）予定者：2018年3月 3,202人 → 2023年3月 2,929人
 前期実施計画期間内学級数の増減の目安 6学級減

2018年（現高1） 2023年（現小5） 2028年（現5歳）
 卒業（見込）者数 3,202人 → 2,929人 → (2,492)人
 公立募集学級 65学級 → 59学級 → (49)学級

各校の改革の方向性（いわき地区）

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

太字の学校名は、前期実施計画で再編整備や1学級本校化を行わない1学年3学級以下の学校。

学校名	学科	現在	前期計画		各校の方向性
		2018年度	2023年度	期間内増減	
磐城	普通	7	7	0	進学指導拠点校 ○進学指導のリーダー校として、単位制の特徴を生かした、より高度な学びの追求や難関大学等に対応した進路指導による、未来を牽引する人材の育成。 ○思考力・判断力・表現力の育成に重点を置いた教育課程の展開や、3年間の計画的な教育活動の積み上げによる、生徒の進路希望の実現。 ○探究的な学びや課題解決型の学習を重視し、主体的で対話的な学びによる深い理解に基づき、社会を生き抜く発想力・行動力を鍛える取組の実践。
磐城桜が丘	普通	7	6	△1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○アクティブ・ラーニングによる授業やICT機器等を授業に活用した探究的な学びを通じた、主体的に学ぶ姿勢や思考力の育成。 ○正義と礼節を守り、民主的・道徳的な態度や豊かな人間性を備え、高潔な品性と寛容な精神にあふれる生徒の育成。
平工業	工業	7	6	△1	職業教育推進校（工業科） ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動の推進と、職業人としての倫理観を持って地域産業界の発展に貢献できる人材の育成。 ○「福島イノベーション・コースト構想」や「バッテリーバレー構想」におけるロボット・再生可能エネルギー・AI・環境など、先進的な知識・技術を学ぶ活動の推進。 ○国際的な視野を持った、新たな社会の創造を担う人づくりを目指す、地域や海外と連携した教育活動の推進。
平商業	商業	5	5	0	職業教育推進校（商業科） ○商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○いわき市の関係機関と連携した商品企画及び商品開発などの学習活動による、地域のビジネスを担う資質・能力の育成。 ○実践的教育内容の充実による、思いやりと気配りを伴ったビジネスマナーの習得や、場面に応じて適切な意思疎通ができるコミュニケーション能力の育成。
いわき総合	総合	5	5	0	キャリア指導推進校 ○総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）及びキャリア教育の充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○地域の四年制大学や短期大学との高大連携による授業の実施など、教育活動の充実による、生徒の学びを深める取組の推進。 ○多様な進路希望に応える、各系列における幅広い選択科目による学びの提供。特に芸術・表現系列における、全国でも高い水準の教育内容の実施。

いわき光洋	文理	5	5	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○単位制の長所を生かす習熟度別授業や少人数授業等の取組を通じた、対話的で深い学びの実践と、個に応じたきめ細かな指導による、学習指導の充実。 ○高大連携による科目を含めた多様な選択科目の設置による、進路希望に応じた科目履修を可能とするカリキュラムの展開。
湯本・遠野 統合校	普通		6	6	キャリア指導推進校 2022年度統合予定 統合校の方向性は、38ページに記載
湯本	普通	6	0	△ 6	2022年度、統合により募集停止
遠野	普通	2	0	△ 2	2022年度、統合により募集停止
小名浜・ いわき海星 統合校	普通 商業 水産		1 1 3	1 1 3	職業教育推進校（商業科・水産科） 2021年度統合予定 統合校の方向性は、38ページに記載
小名浜	普通 商業	1 1	0 0	△ 1 △ 1	2021年度、統合により募集停止
いわき 海星	水産	4	0	△ 4	2021年度、統合により募集停止
磐城農業	農業	4	4	0	職業教育推進校（農業科） ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○GAP認証や「福島イノベーション人材育成実践事業」を通じた教育活動による、農業の新たなニーズに対応できる知識と技術の習得を目指す取組の推進。 ○農畜産物の生産、加工、商品開発及び販売による、一貫した実践的な学びを通じた、地域活性化に貢献できる学校づくりの推進。
勿来	普通	2	2	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○基礎学力の定着と社会性や生活力を身に付けるための学校設定科目の設定による、社会人として必要な資質や能力の養成。 ○いわき支援学校くぼた校との連携による、特別支援教育の知見と手法を生かした、一人一人の能力や適性、ニーズに合わせたきめ細かな指導の推進。
勿来工業	工業	5	4	△ 1	職業教育推進校（工業科） ○地域企業等との連携による工業教育の充実に加え、専門的な知識・技能の習得と進路希望に応じたキャリア教育による、地域産業を支える人材の育成。 ○「福島イノベーション人材育成実践事業」を活用した、地元企業等との連携による実践的な経験を積ませるインターンシップ等の推進。また、高い専門性を身に付けるための工業教育の徹底による生徒の進路希望の実現及び工業を通じた地域との交流による、地域から愛され社会に貢献できる職業人の育成。
好間	普通	2	2	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○地域の教育機関や行政機関、企業などとの連携のもと、地域の課題について学び、解決方法を探究する地域探究活動の推進。 ○基礎学力の定着を図るきめ細かな学習指導及び「鍛える教育」の精神を教育活動の核とした、社会人としての人間性を育む学校づくりの推進。

四倉	普通	2	2	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○地元企業との連携による体験活動を重視した人材育成プロジェクト「デュアル実習」など、地域創生の一翼を担うことのできる学校へ向けた取組の推進。 ○富岡支援学校との連携による、インクルーシブ教育の先端的な取組の研究・実践と、その成果の普及へ向けた取組の推進。
学級数計		65	59	△ 6	

いわき地区の再編整備の方向性

① 湯本・遠野統合校

開校年度：2022年度予定

使用校舎：湯本高等学校の校舎

学科構成：普通科6学級

統合校における教育活動の方向性：

- 生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等により、生徒の学びを充実させ、地域を支える核となる人材を育成するキャリア指導推進校に位置づけます。
- 湯本と遠野の取組を継承し、地域の伝統・文化の継承活動を推進するとともに、地域から信頼される学校として、地域と連携した活動を推進します。
- アクティブ・ラーニングやICT機器等を活用した授業の展開に加え、探究的な学習を推進することで、主体的な学びの姿勢と思考力、発信力を育成します。

検討する統合校の特色化：

ICT機器等を活用した探究的な学び。遠野地区や湯本地区の伝統文化の継承。スポーツや文化などの分野に触れる学び。

② 小名浜・いわき海星統合校

開校年度：2021年度予定

使用校舎：小名浜高等学校の校舎（実習はいわき海星高等学校の校舎を使用）

学科構成：普通科1学級・商業科1学級・水産科3学級

統合校における教育活動の方向性：

- 水産教育の拠点及び商業教育の実施校として、高い専門性を身に付けるための教育活動により、生徒の知識・技能を高める職業教育推進校に位置づけます。
また、生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等により生徒の学びを充実させるなど、普通教育と職業教育の推進により、地域産業を支える核となる人材を育成します。
- 学科間連携による水産業での6次産業化やマリンスポーツなど流通や観光の分野における地域ビジネスに関する教育を展開します。
- 国際港小名浜があるという地域の特色に対応した、語学教育を展開し、実践的な学習活動により外国語によるコミュニケーション能力を高めます。

検討する統合校の特色化：

小名浜地区ならではの水産科・商業科・普通科の学科間連携。地域との連携による新たな地域の魅力を創出する取組。

(6) 相双地区

中学校卒業（見込）者：2018年3月 936人 → 2023年3月 823人
 前期実施計画期間内学級数の増減の目安 2学級減

2018年（現高1） 2023年（現小5） 2028年（現5歳）
 卒業（見込）者数 936人 → 823人 → (618)人
 公立募集学級 27学級 → 25学級 → (19)学級

各校の改革の方向性（相双地区）

* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

太字の学校名は、前期実施計画で再編整備や1学級本校化を行わない1学年3学級以下の学校。

学校名	学科	現在	前期計画		各校の方向性
		2018年度	2023年度	期間内増減	
ふたば 未来学園	総合	4	4	0	キャリア指導推進校 ○総合学科、中高一貫の特色を生かした、多様な科目群(系列)や探究を軸とした学習の充実による、夢を実現し、地域や世界で未来を創造する力の育成。 ○併設型中高一貫教育の中で深い学力をじっくり育みながら、哲学・演劇などシティズンシップ教育の充実、コミュニケーション能力の育成、グローバルな視点から地域の課題解決に取り組む力の育成を図る教育活動の推進。 ○各競技団体との連携による、世界に通用する真のアスリートの育成。
相馬	普通	3	3	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○「福島イノベーション・コースト構想関連事業」の取組を通じた地域のエネルギー問題等の深い理解による、地域の復興と再生に寄与するリーダーの育成。 ○地域の医療、教育、福祉、行政等の各分野をテーマとした課題解決学習や探究的な学びの展開による、多角的な視点で地域を理解する質の高い学びの推進。
	理数	1	1	0	
相馬東・ 新地 統合校	総合		5	5	キャリア指導推進校 2022年度統合予定 統合校の方向性は、40ページに記載
相馬東	総合	4	0	△ 4	2022年度、統合により募集停止
新地	普通	2	0	△ 2	2022年度、統合により募集停止
原町	普通	4	4	0	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と進学指導を充実させた、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○「福島イノベーション人材育成実践事業」を活用し、企業・大学等訪問を通じた将来貢献したい分野を見出す取組、地域理解と課題解決に取り組む探究学習、英語を用いたプレゼンテーションの実践等による、時代に対応した幅広い能力の育成。また、地域の医療分野等で中心的役割を担う人材の育成。
相馬農業	農業	3	3	0	職業教育推進校（農業科） ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○「福島イノベーション人材育成実践事業」を活用した、地域の農業を深く知るための実習や先端技術を学ぶ活動を通じた、次世代の農業人の育成。 ○地域との連携のもと、郷土芸能部による地域の伝統芸能を継承する活動や、地域の小中学生と協働した、食産業の魅力を発信する活動の推進。

小高産業技術	工業	4	3	△ 1	職業教育推進校（工業科・商業科） ○工業・商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○「福島イノベーション・コースト構想」を担う専門人材育成に向けた、大学や企業との連携によるロボット工学、再生可能エネルギー、ビジネスに関する教育や工業科・商業科を横断した教育活動の推進。 ○地域の復興や活性化に向けて取り組む学校として、地域社会との連携の強化。
	商業	2	2	0	
双葉	普通	0	—		2017年度より休校 住民の帰還状況や小中学校の再開状況を注視する。
浪江	普通	0	—		
浪江津島	普通	0	—		
富岡	国際・スポーツ	0	—		
双葉翔陽	総合	0	—		
相馬農業飯舘	普通	0	—		サテライト校を2018年度より募集停止。住民の帰還状況や小中学校の再開状況を注視する。
学級数計		27	25	△ 2	

相双地区の再編整備の方向性

① 相馬東・新地統合校

開校年度：2022年度予定

使用校舎：相馬東高等学校の校舎

学科構成：総合学科5学級

統合校における教育活動の方向性：

- 総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）の設置と基礎学力の確実な定着を図る取組及びキャリア教育の充実により、地域を支える核となる人材を育成するキャリア指導推進校に位置づけます。
- 相馬東と新地の教育活動を継承し、各系列の特徴を生かした専門的な知識・技能の習得や、丁寧な学習指導・進路指導を実践することで、特色化を図ります。
- 新地の実践してきた命の教育や震災被害の伝承活動などを防災教育の観点から継承するなど、地域と連携した教育活動の充実を図ります。

検討する統合校の特色化：

生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた丁寧な学習指導や進路指導。防災教育に関する系列の設置。

※ 休校となっている双葉高等学校、浪江高等学校、浪江高等学校津島校、富岡高等学校、双葉翔陽高等学校及びサテライト校を募集停止した相馬農業高等学校飯舘校については、今後の地域の復興の進展、住民の帰還状況、小中学校の再開状況等を考慮しながら、今後の在り方を検討していきます。

3 定時制・通信制課程の改革の方向性

定時制・通信制高等学校については、多様な入学動機や学習歴を持つ入学者が増えているため、地区ごとの配置の状況、志願動向はもとより、多様な生徒のニーズに応えられる学習環境の整備などの観点から、各校の計画期間中の方向性を以下のとおりとします。

(1) 定時制高等学校

各校の改革の方向性

地区	学校名	学科	現在	前期計画		各校の方向性
			2018年度	2023年度	期間内増減	
県北	福島工業 (定時制)	工業 (夜)	1	1	0	県内唯一の工業科の夜間部定時制 ○定時制課程工業科の特色を生かし、学ぶ意欲を高めるきめ細かな指導や体験学習を重視した、自立的に生き、社会の形成に参画できる人材の育成。 ○生徒に寄り添った生活指導や教育相談をはじめ、個に応じた丁寧な授業の実践による、生徒の学習意欲の喚起及び基礎学力の定着。 ○定通併修の制度等を活用した、3年間で卒業できる教育課程編成の継続。 ○確かな知識と技術を身に付けるための資格取得や「ものづくり」の奨励。
	保原・福島中央 統合校	普通 (夕)		1	1	県北地区唯一の普通科の夕間部定時制 2022年度統合予定 統合校の方向性は、42ページに記載
	保原 (定時制)	普通 (夜)	1	0	△ 1	2022年度、統合により募集停止
	福島中央	普通 (夜)	1	0	△ 1	2022年度、統合により募集停止
県中	郡山萌世 (定時制)	普通 (昼)	3	3	0	福島県全域を学区とする多部制（昼夜間）の普通科定時制 ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○昼間主、夜間主の2コースを設け、昼夜間の共通選択科目を履修することによる、3年間でも卒業できる教育課程の編成。 ○進路希望等に応じた科目の設定による、自ら学ぶ意欲を高める取組の推進。 ○社会人に対する科目履修制度による、県民の生涯学習の充実への寄与。
		普通 (夜)	1	1	0	
県南	白河第二	普通 (夜)	1	1	0	県南地区唯一の普通科の夜間部定時制 ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○「生活体験発表」や定通大会等における学習活動へ向けた手厚い指導や丁寧で継続的な教育相談による、生徒の自尊感情や自己肯定感を高める取組の推進。 ○学び直しの取組による生徒の学習意欲の喚起や、学校行事等の活性化による仲間の大切さや集団行動の楽しさを実感できる教育活動の実践。
会津	会津第二	普通 (夜)	1	1	0	会津地区唯一の普通科の夜間部定時制 ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○アクティブ・ラーニングによる、生徒の授業への参加と学習意欲の喚起に加え、習熟度を考慮したわかる授業と繰り返し学習による、基礎基本の定着。 ○生徒の学校生活（学習、進路、健康、就業）における悩みに真摯に向き合う個別相談の充実による、生徒の抱える課題を解決に導く取組の推進。

いわき	いわき翠の杜	普通(昼)	2	2	0	いわき地区唯一の多部制(昼夜間)の普通科定時制 ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○昼夜間の共通科目履修による、3年間で卒業できる教育課程の編成。 ○基礎学力の向上を目指した、ICT機器等の活用による「わかる授業」の展開。 ○規範意識と社会性の育成、進路意識の高揚を図る取組の推進及び地域との交流やボランティア活動への参加等を通じた、社会に貢献しようとする心の育成。
		普通(夜)	1	1	0	
学級数計			12	11	△1	

(2) 通信制高等学校

改革の方向性(募集定員)

学校名	学科	現在	前期計画		学校の方向性
		2018年度	2023年度	期間内増減	
郡山萌世(通信制)	普通	500	400	△100	福島県全域を学区とする県内唯一の公立通信制高等学校 ○通信制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○勤労者に加え、幅広い年齢層や不登校・中途退学経験者など多様な背景を持った生徒への学びの場、学び直しの機会の提供。 ○分かりやすい面接指導や学習指導による、生徒の学習意欲の喚起と、興味・関心を引き出す教育の推進による、生徒の進路実現の支援。
募集定員計(人)		500	400	△100	

定時制・通信制高等学校の再編整備の方向性

① 保原・福島中央統合校

開校年度：2022年度予定

使用校舎：福島中央高等学校

学科構成：定時制普通科1学級(夕間部1学級)

統合校における教育活動の方向性：

- 夕間部定時制という新しいタイプの定時制課程の特色を生かした、生徒の生活パターンや多様な学習ニーズに応える教育活動やキャリア教育を実践します。
- 保原定時制と福島中央の取組を継承し、わかりやすい授業の展開や個別指導などのきめ細かな学習指導により、生徒の基礎学力の定着を図ります。
- キャリア教育や教育相談の充実、学校行事の活性化等により、生徒の社会性やコミュニケーション能力を向上させ、人間的成長を支援します。

検討する統合校の特色化：

生徒の学習ニーズに合わせた柔軟な学び。個に応じた丁寧な学習指導やキャリア教育。